



岡山県内経済情勢報告

令和 8 年 8 月 5 日

財務省 中国財務局

岡山財務事務所

本調査にかかるお問い合わせ先
財務省 中国財務局 岡山財務事務所
財務課長 上石
TEL (086) 223-1131 内線 411

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

項 目	前回（8年4月判断）	今回（8年7月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	

（注）8年7月判断は、前回8年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、改善に向けた動きに一服感がみられる。

【各項目の判断】

項 目	前回（8年4月判断）	今回（8年7月判断）	前回比較
-----	------------	------------	------

個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	改善に向けた動きに一服感がみられる	改善に向けた動きに一服感がみられる	

設備投資	7年度は前年度を上回る見込み	8年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	7年度は減益見込み	8年度は減益見込み	
企業の景況感	「下降」超に転じている	「下降」超幅が拡大している	
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	
輸出	前年を上回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

百貨店・スーパー販売は、商品価格の上昇により前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、価格上昇が続く中、販売促進施策での売上が好調なものの、節約志向も続いており、前年並みとなっている。家電大型専門店販売は、省エネ基準の引上げが予定されているエアコンや、サッカーワールドカップの開催によりテレビが好調なことなどから前年を上回っている。ドラッグストア販売は、晴れの日が多く、日焼け止めや殺虫剤などが好調だったほか、中東情勢の影響を受け、日用消耗品のまとめ買いがみられ前年を上回っている。ホームセンター販売は、気温高により暑さ対策や外仕事用品が売れたほか、中東情勢の影響を受け塗料・資材や家庭用品のまとめ買いがみられ前年を上回っている。乗用車販売は、前年を上回っている。

このように、個人消費は、緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 例えば飲食料品の中でも、地域の物産展といった催事では前年を上回るなど売上が好調となるものの、日常消費用の青果などは、低価格帯の他業態に需要が流出しているように感じる。また、高価格帯のバッグや宝飾などの売上は好調だが、通常の衣料品は縮小傾向にあるなど、「メリハリ消費」の流れが加速している。(百貨店)
- 食料品全般の価格上昇により、買上点数が減少する一方で、客単価は上昇している。(スーパー)
- 物価高が続く中、PB 商品が好まれるなど低価格志向は続いているものの、キャラクターなどのコラボ商品など高付加価値商品の購買意欲は底堅いものがある。(コンビニエンスストア)
- 令和9年4月の省エネ基準引き上げを控え、エアコンの駆け込み需要がみられている。また、サッカーワールドカップの開催に伴い、大型・高品質のテレビも好調となっている。(家電大型専門店)
- 晴れの日が多かったことから、日焼け止めや殺虫剤などが良く売れた。また、中東情勢の影響で、日用消耗品のまとめ買いがみられ、一部の店舗では入荷待ちの商品もあった。(ドラッグストア)
- 気温が高かったことから、すだれやエアコンなどが良く売れた。また、中東情勢の影響で商品価格が上昇する中、品薄となる不安もあり、塗料・資材や家庭用品のまとめ買いが多くみられた。(ホームセンター)
- 6月は台風や週末の降雨が多かったため、客数に影響が出たものの、全体としては土産物を中心に売上が好調に推移した。定番商品の価格に手頃感があり、価格が上昇している中でも土産物の需要の高さは変わらない。(専門店)

■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

輸送機械は、自動車の生産水準が上向いていることから、増加している。化学は、原料供給の減少の影響が解消し、増加している。汎用・生産用・業務用機械は、需要が堅調なことから、概ね横ばいとなっている。電気機械は、AI 向けや車載向けの需要が好調なことなどから、増加している。鉄鋼は、船舶向けが堅調なことから、概ね横ばいとなっている。

このように、生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。

- メーカーからの部品受注が計画値を超えている。(自動車)
- 中東情勢の影響を受け、3月に一部で減産したものの、4月以降は需要に応じた生産となっている。(化学)
- 受注残があり、需要も堅調なことから、生産量は安定している。(汎用・生産用・業務用機械)
- EV 向けは低調となっているものの、AI 向けや車載向けなど半導体全体としては、需要が好調となっている。
(電気機械)
- 資材価格の高騰や人手不足などから、建築向け鋼材の需要は伸び悩んでいるものの、船舶向け需要は堅調である。
(鉄鋼)

■ 雇用情勢 「改善に向けた動きに一服感がみられる」

企業の人手不足感は、法人企業景気予測調査（8年4-6月期）の従業員数判断 BSI でみると、「不足気味」超が続いている中、新規求人数が前年を下回り、有効求人倍率は高水準であるものの低下傾向にある。このように、雇用情勢は、改善に向けた動きに一服感がみられる。

- 求人は引き続き弱含んでおり、物価高が続いていることや最低賃金が上昇していることなどコスト高から欠員補充を遅らせたり見送ったりする「求人控え」の動きなどがみられる。（職業紹介）
- 従業員の高年齢化が進む中、求人を出しても応募が少なく、若返りが図られていない。（石油・石炭）

■ 設備投資 「8年度は前年度を上回る見込み」（全産業）「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 製造業では、自動車などで減少見込みとなるものの、鉄鋼や化学などで増加見込みとなっている。
- 非製造業では、建設などで減少見込みとなるものの、金融・保険や小売などで増加見込みとなっている。

- 前年度は大型の設備投資を行ったが、今年度は通常投資としている。（自動車）
- 今年度、製品ラインナップの拡充のための生産設備を整備する予定である。（鉄鋼）
- 生産設備の増設や更新を行うこととしている。（化学）
- 前年度は大型建機の更新や資材倉庫の新設を行ったが、今年度は、通常の維持・更新のみとなっている。（建設）
- 老朽化した店舗の建替えのほか、サーバや端末の更新を行う予定。また、営業用システムの更新等も行う予定。（金融・保険）
- 物流センターの新設に着手するほか、既存の店舗の改装も継続して行う予定としている。（小売）

■ 企業収益 「8年度は減益見込み」（全産業）「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 製造業では、電気機械などで増益見込みとなるものの、化学や情報通信機械などで減益見込みとなっている。
- 非製造業では、建設などで増益見込みとなるものの、学術研究等や運輸・郵便などで減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅が拡大している」（全産業）「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 企業の景況判断 BSI は、「下降」超幅が拡大している。なお、翌期は「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数でみると、分譲住宅が増加したものの、貸家などが減少していることから、前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を上回っている」

- 輸出は、品目別では、石油製品や非鉄金属などが増加していることから、前年を上回っている。なお、地域別では、アジアなどで前年を上回っている。

岡山県内経済情勢報告

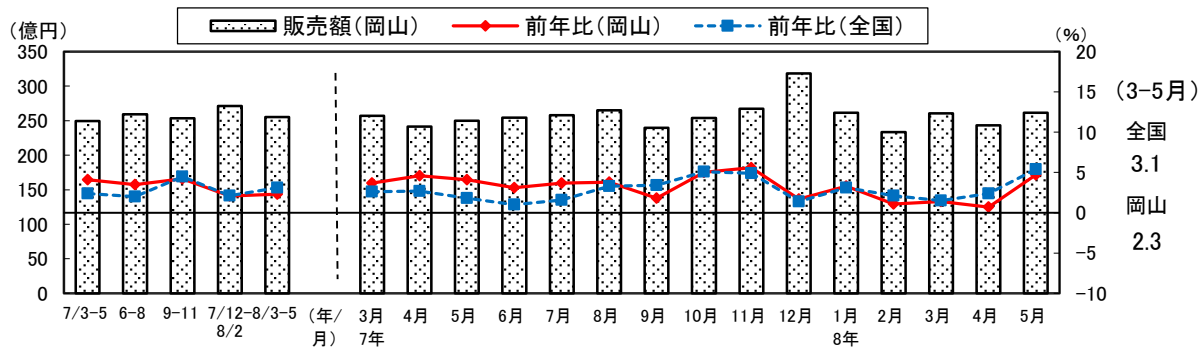
資料編

目次	ページ
1. 個人消費.....	1
2. 生産活動.....	3
3. 雇用情勢.....	4
4. 設備投資.....	5
5. 企業収益.....	5
6. 企業の景況感.....	5
7. 住宅建設.....	6
8. 輸出.....	6

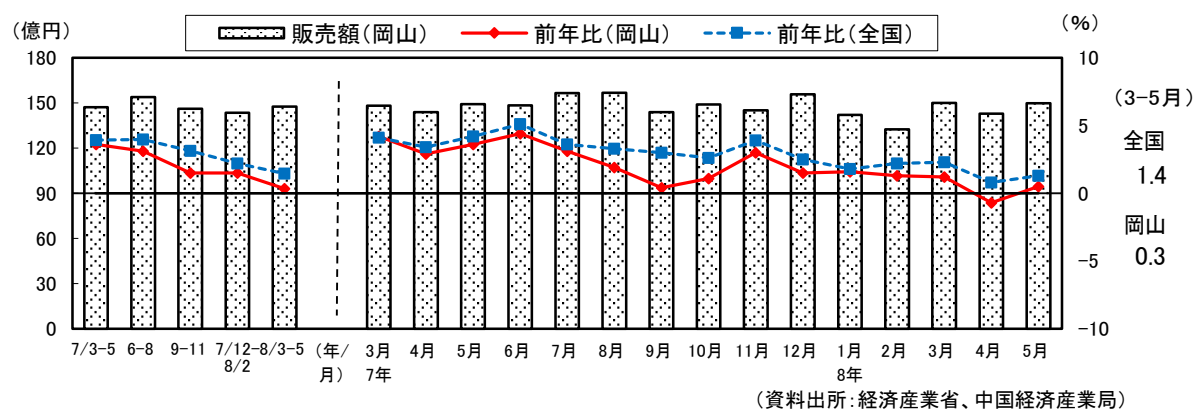
※グラフの外枠（右側）に記載している計数は、各項目の状況を分析する上で参考とした前年比、指数、倍率。

1.個人消費 緩やかに回復しつつある

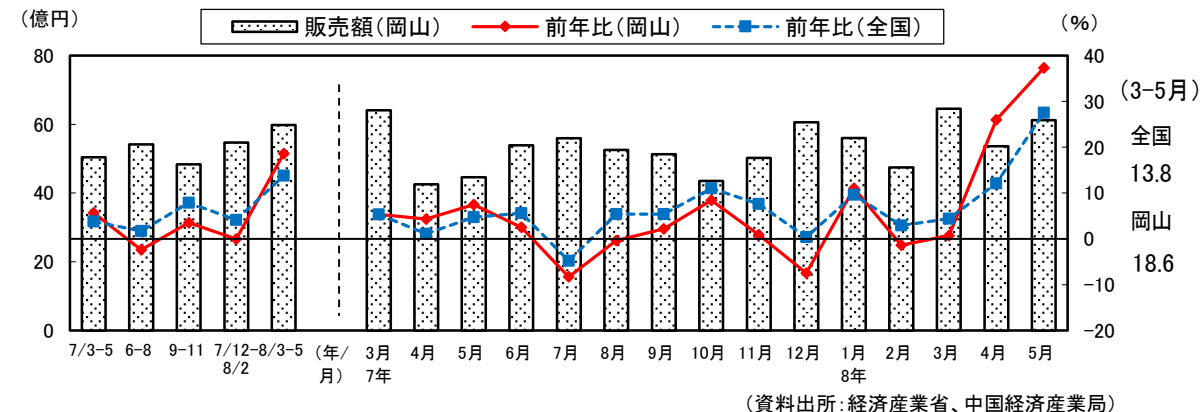
(1)百貨店・スーパー販売額(全店舗:前年比) (注)(1)~(5)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均



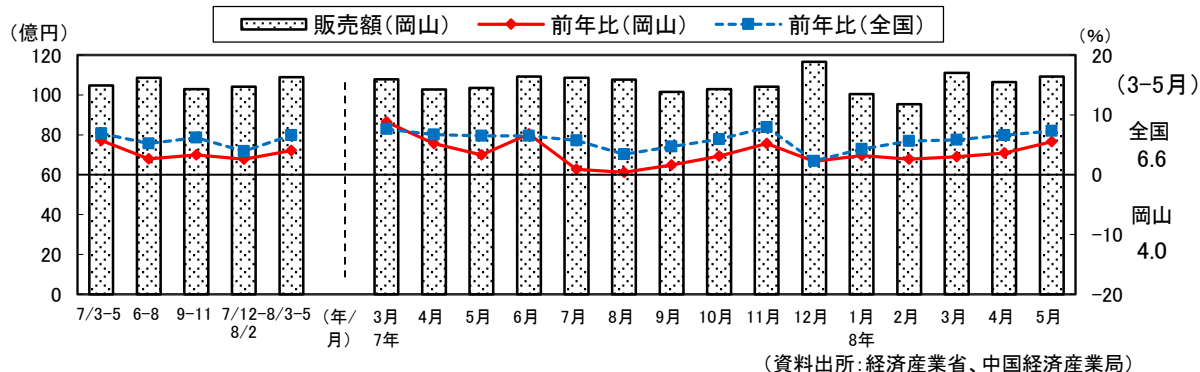
(2)コンビニエンスストア販売額(全店舗:前年比)



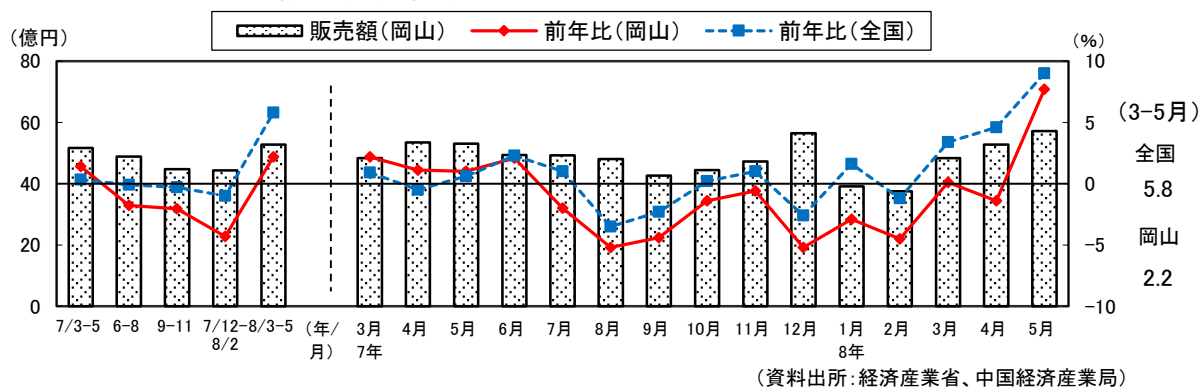
(3)家電大型専門店販売額(全店舗:前年比)



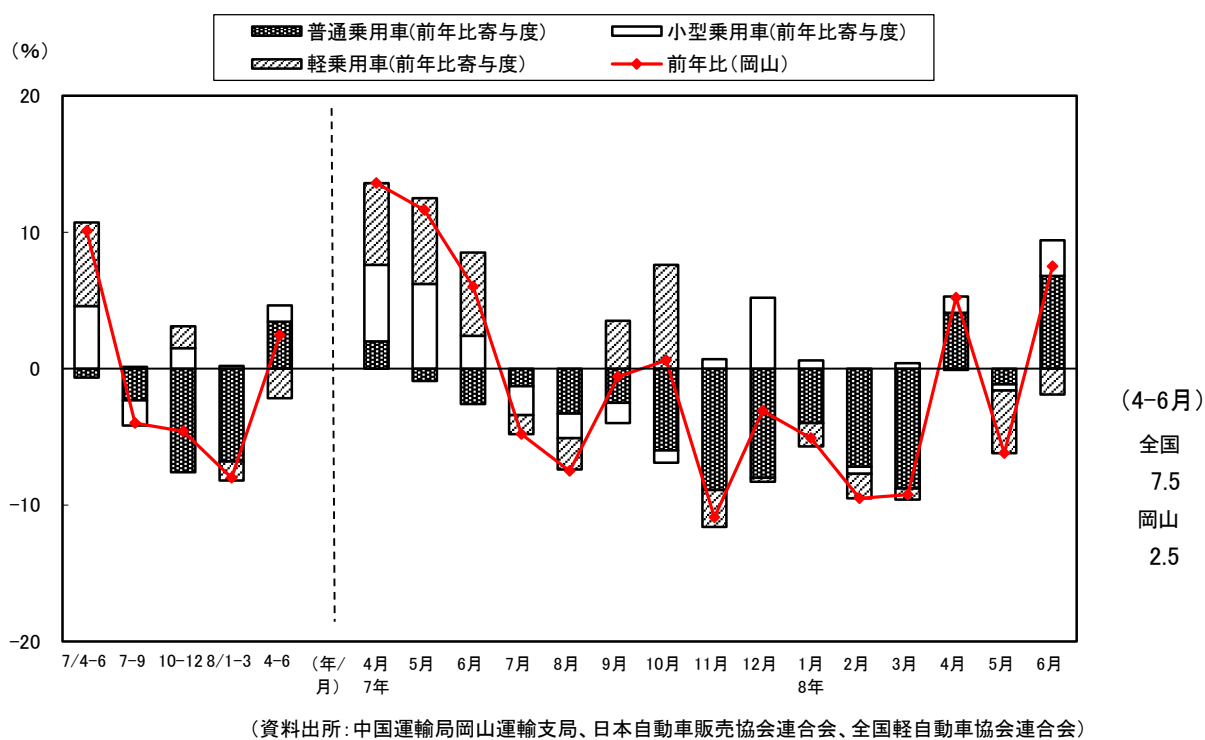
(4)ドラッグストア販売額(全店舗:前年比)



(5) ホームセンター販売額(全店舗:前年比)



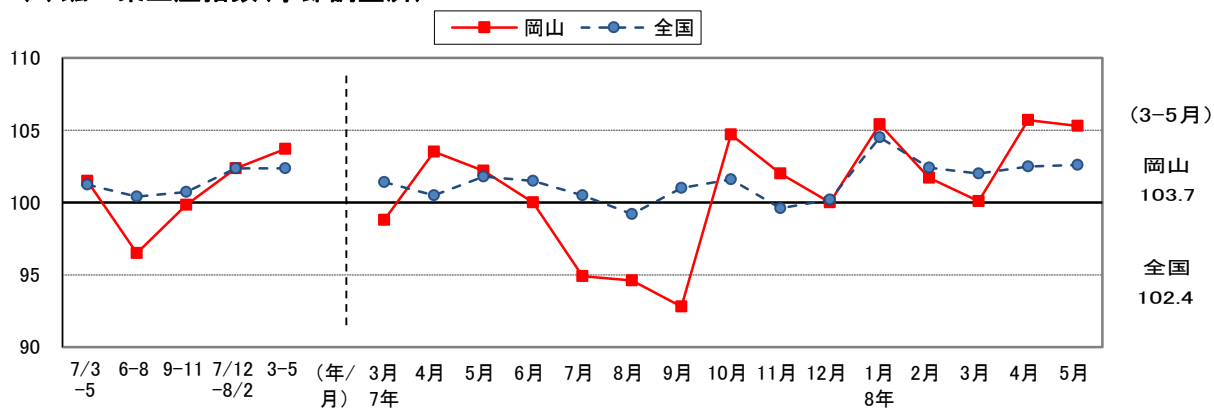
(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)



2.生産活動 緩やかに持ち直しつつある

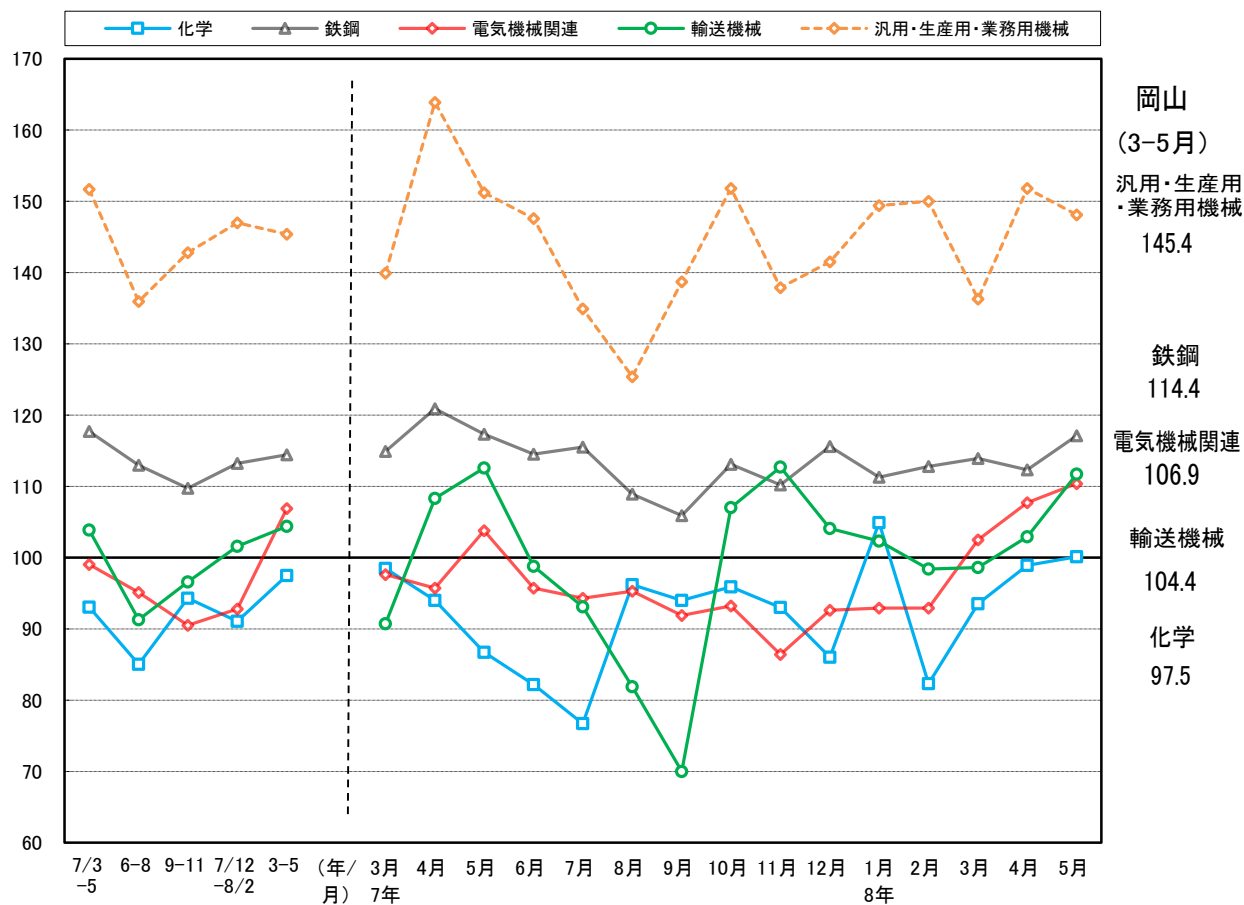
(1) 鉱工業生産指数(季節調整済)

(指数)(令和2年=100)



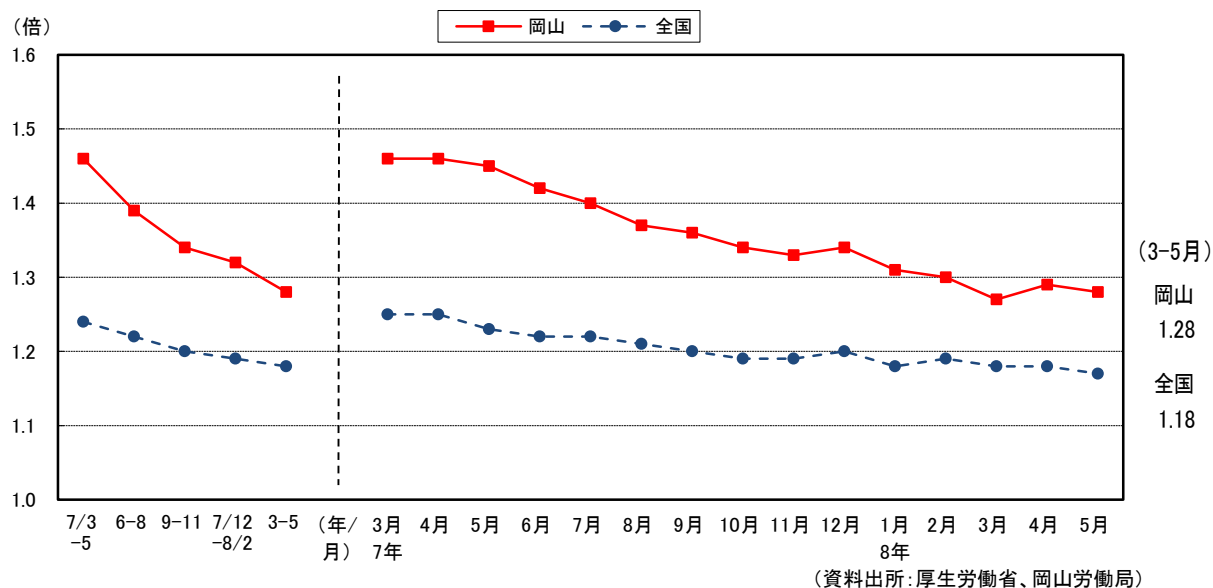
(2) 主要産業別生産指数(季節調整済)

(指数)(令和2年=100)

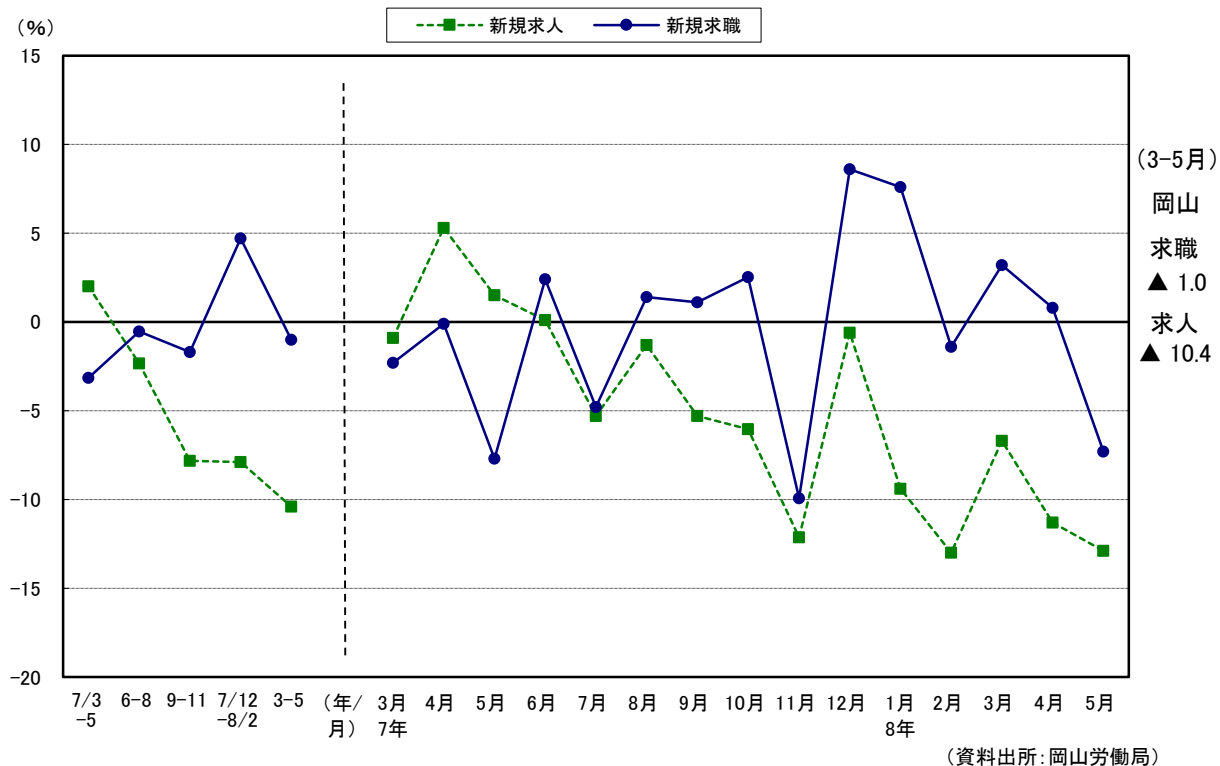


3.雇用情勢 改善に向けた動きに一服感がみられる

(1)有効求人倍率(学卒を除く、季節調整値)



(2)新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



4.設備投資（除く土地、含むソフトウェア投資） 8年度は前年度を上回る見込み

（前年度比増減率：％）

設備投資	全産業		製造業		非製造業	
8年度	(35.3)	41.2	(42.4)	58.9	(27.2)	8.5

（注）当所法人企業景気予測調査（8年4～6月期）結果
（ ）書きは前回（8年1～3月期）調査結果

（資料出所：岡山財務事務所）

5.企業収益（電気・ガス・水道業及び金融業・保険業を除く） 8年度は減益見込み

（前年度比増減率：％）

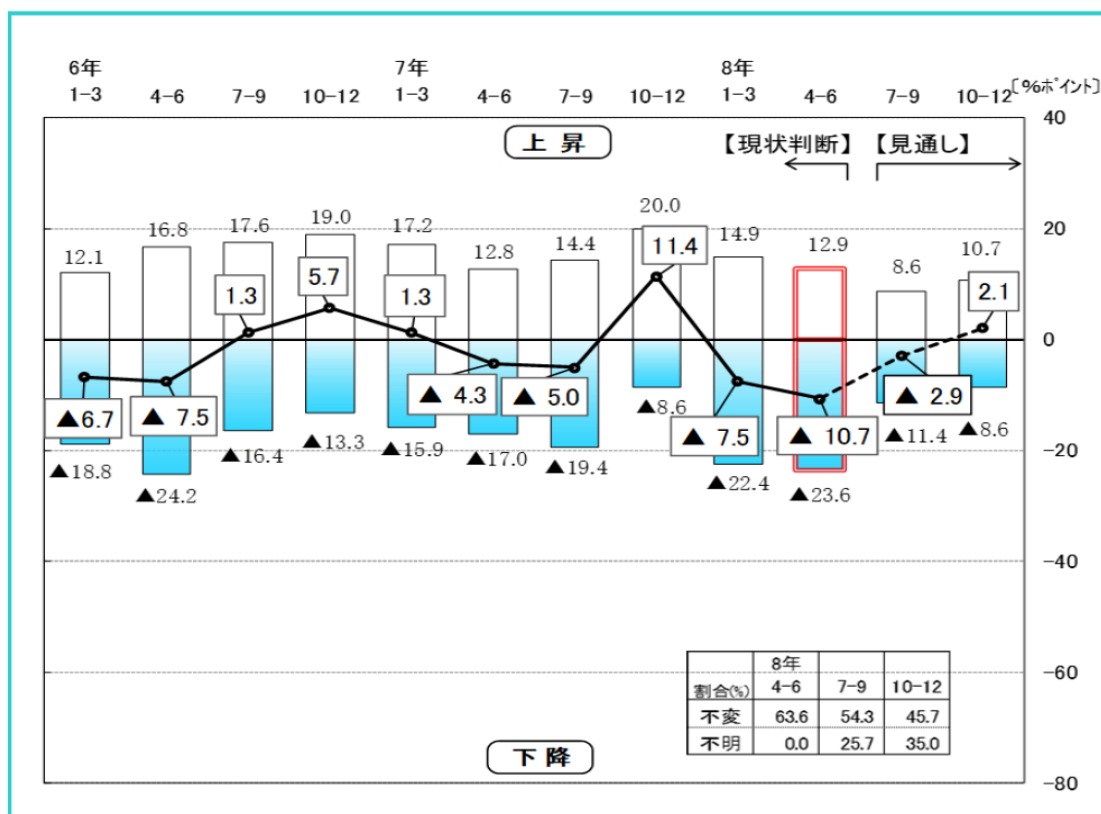
経常利益	全産業		製造業		非製造業	
8年度	(▲47.0)	▲ 42.8	(▲54.8)	▲ 49.6	(▲34.0)	▲ 30.6

（注）当所法人企業景気予測調査（8年4～6月期）結果
（ ）書きは前回（8年1～3月期）調査結果

（資料出所：岡山財務事務所）

6.企業の景況感 「下降」超幅が拡大している

景況判断BSIの推移（原数値）（BSI：前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比）

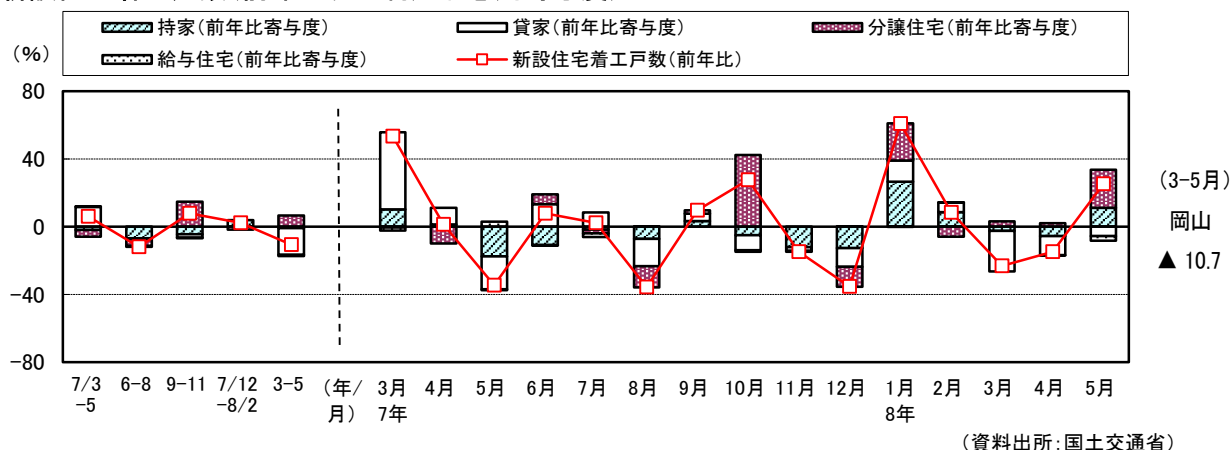


（注）当所法人企業景気予測調査（8年4～6月期）結果

（資料出所：岡山財務事務所）

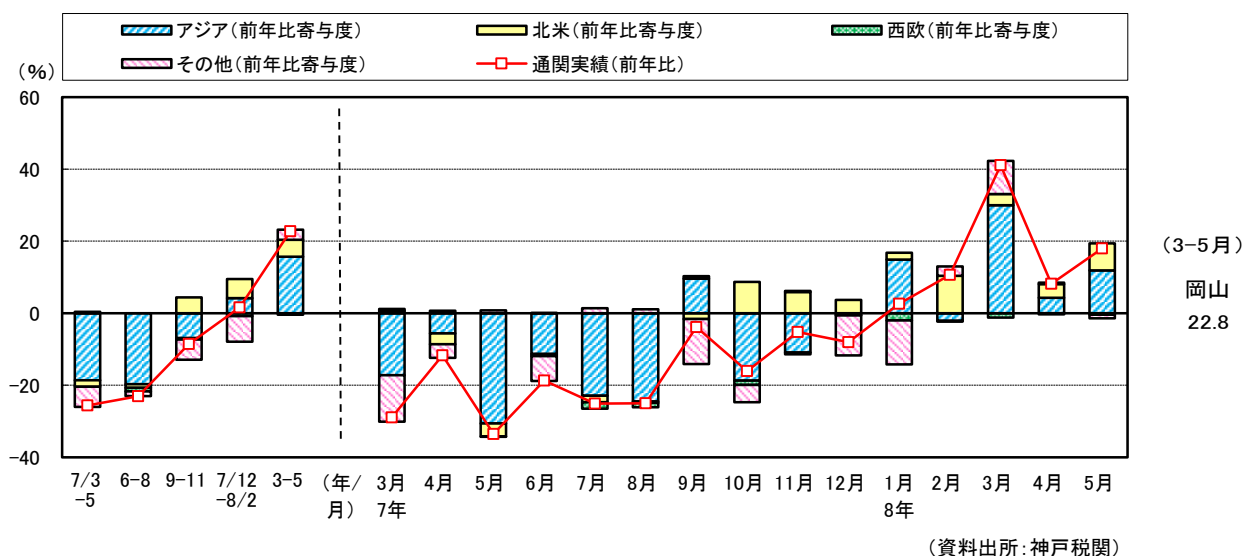
7.住宅建設 前年を下回っている

新設住宅着工戸数(前年比及び利用形態別寄与度)



8.輸出 前年を上回っている

輸出(円ベース)



<参考>

輸入(円ベース)

